

## ヘルパーステーション「こもれび」

### 福島市にオープン

当法人が5月より準備していた、ヘルパーステーション「こもれび」が、8月1日にオープンしました。いわき市以外では、初めての立ち上げです。

「こもれび」は、筋ジストロフィー協会福島支部の代表である八代弘さんの「退院したい 職場に復帰したい」という要請を受けて、検討を始めました。八代さんは、この2月に呼吸困難になり、気管切開し人工呼吸器をつけるようになりました。その後の回復はめざましく、現在は睡眠時のみ人工呼吸器をつけています。

「こもれび」には6名のヘルパーが集まり、7月中に八代さんが入院している国立西多賀病院で、たんの吸引の研修を受け、8月10日めでたく退院のはこびとなりました。8月中は自宅で体調を整え、9月3日に半年振りに職場復帰を果たしました。

(八代さんは設計会社の社長さんです)

下の写真はその日の八代さんと「こもれび」のヘルパーです。晴れ晴れとした表情には、そんな事情があります。

「こもれび」は、当面筋ジスやALSといった進行性の難病者への介助派遣を中心とした事業展開を考えております。 (理事長)



前列が八代さん 後列左がヘルパーの高橋さん 右がサービス提供責任者の斎藤さん



八代さん所有のビルの2階に「こもれび」の事務所があります。